

令和4年度

事業報告書

学校法人 大阪明星学園  
明星高等学校・中学校

# I. 法人の概要

## 1. 法人の概要 (2023年 5月 1日 現在)

- ・ 理 事 長 名 : 理事長 馬 込 新 吉
- ・ 前身学校設立年月 : 1898年 9月
- ・ 法人設立認可年月 : 1951年 3月
- ・ 法人所在地 : 〒543-0016 大阪府大阪市天王寺区餌差町5番44号
- ・ 設置する学校・学科 :

学校名	明星高等学校	明星中学校
校長名	野中豊彦	野中豊彦
学 科	全日制課程 / 普通科	
所在地	〒543-0016 大阪市天王寺区餌差町5番44号	〒543-0016 大阪市天王寺区餌差町5番44号
設立年月日	1948年 4月 1日	1947年 4月 1日
学則定員	1,290 名	810 名
入学定員	1,120 名	690 名
募集人員	2023年度3ヵ年募集 120 名	2023年度募集 220 名
生徒数	5/1現在 904 名	693 名
1,597名		

## 2. 役員・教職員の概要

役 員 :

	理 事	監 事	評 議 員
定 員	5	2	11
現 員	5	2	11

教 職 員 :

		専 任	常 勤	非 常 勤	計
教 員 (*1)	高等学校	51 54	15 13	14 (*3) 13	80 80
	中学校	36 36	13 13	8 9	57 58
	計	87 90	28 26	22 22	137 138
職 員 (*2)	高等学校	5 5		1 1	6 6
	中学校	3 3	1 1	1 1	4 5
	計	8 8	0 1	2 2	10 11
		95 98	28 27	24 24	147 149

上段は2023年4月現在、下段は2022年4月現在

\*1 養護教諭 3名(専任 高校・中学各1名 常勤 高校1名)、司書教諭 2名(専任 高校1名・常勤 中学1名)を含む

\*2 カウンセラー 2名(非常勤)含む

\*3 ネイティブ外国人講師3名を含む

### 3. 法人の沿革

1817年 10月	ギョーム・ヨゼフ・シャミナード師によってフランスのボルドーにマリア会を創立
1887年 12月	マリア会本部から日本に2名を派遣
1888年 8月	東京に暁星学校(現在の暁星学園)を設立
1892年 1月	長崎に海星学校(現在の海星学園)を設立
1898年 7月	ジョセフ・ウォルフ先生が日本マリア会ヘンリック師より学校設立の命をうけ大阪派遣
9月	現大阪市西区江戸堀に建物を整備し「明星学校」と名付け、夜間外国語学校を開校 学校長 ジョセフ・ウォルフ先生就任(生徒数 13名)
1900年 12月	文部省から明星商業学校の設立認可
1904年 3月	現在の真田山に移転
1947年 4月	学制改正により明星中学校(新制)が設立
1948年 4月	学制改正により明星高等学校(新制)が設立
11月	創立50周年記念式典挙行
1951年 3月	私立学校法制定により「学校法人 大阪明星学園」発足
1960年 6月	信貴山校外学舎(奈良県生駒郡三郷町)着工
1973年 6月	伊那校外学舎(長野県伊那市)用地購入
1998年 11月	創立100周年記念式典挙行
2000年 9月	シャミナード師、「福者」の称号

## Ⅱ. 事業の概要

2022年度は新型コロナウイルスから徐々に通常の日常が取り戻され、主な学校行事は実施することが出来ました。

入学式を出来なかった中学3年生、高校3年生の卒業式も無事実施され、一部制約があったグローバル教育関連行事もコロナ禍以前の状況を取り戻しました。特に中学3年ターム留学は、参加者67人とコロナ禍以前よりも大幅に増加となりました。引き続き感染症予防には注意を払いつつも、生徒が主体性をもって自立していくことに注力した方針へ舵をきっていきます。

2023年度はコロナ禍で生じた生徒と教員とのコミュニケーション不足や学力の低下等の問題点を点検し、早期に「明星らしさ」を取り戻して、活気ある学園の構築を講じる大事な一年としなければなりません。

2022年度の主な行事についての実施状況は次のとおりです。

実施日			行事名	実施状況
月	日	曜日		
4	5	火	入学式	保護者の参列を認め、中・高に分けて実施
5	23 25	月 水	中学1年 オリエンテーション合宿	当初2泊3日の予定を、2班に分け、1泊2日で実施
6	28	火	中学3年長崎研修旅行	2021度、中学2年時延期の研修旅行を2022年度に実施 3泊4日 / 2班に分かれて実施
7	2	土		
6	27	月	高校Ⅱ年北海道 研修旅行	4泊5日 / 2班に分かれて実施
7	2	土		
9	25	日	学園祭	学年ごとに午前・午後に分けて実施 [食品関係の出店は中止し、飲食は外部業者へ依頼] (生徒・保護者のみ、外来来校者等なし)
9	29 30	木 金	高校体育大会 中学体育大会	中・高とも午前中のみの実施。保護者、来賓観覧 中学は9/28実施予定が雨天延期、9/30に実施
10	21 25	金 火	中学2年 研修旅行	3泊4日 / 2班に分かれて実施
2	28	火	高等学校 卒業式	家族の参列について人数制限を設けず実施 (後援会主催謝恩会も実施)
3	18	土	中学校 卒業式	家族の参列について人数制限を設けず実施 (後援会主催謝恩会も実施)
			行事名	実施状況
			復活祭	4月17日(日) マリアンホールにて実施
			球技大会	4月 高校実施 5月 中学実施 9月 中学 雨天中止 高校実施
			和太鼓演奏鑑賞	9月22日(木) 中・高に分けて実施
			慰霊祭	11月1日(火) 中1～高2までは マリアンホールにて実施。高3は映像を各教室に配信 慰霊祭終了後、「命の大切さを考える」講演会実施
			クリスマスの集い	12月24日(土) 実施(ミサはマリアンホール) 但しクリスマス・パーティーは中止
			ウォークラリー	3月10日(金) 高校のみ実施 中学は球技大会に変更

### Ⅲ. 財務の概要

#### 1. 主要な経営指標等の推移

事業活動収支計算書 推移

単位:百万円

決算期	2019年3月 2018年度	2020年/3月 2019年度	2021年3月 2020年度	2022年3月 2021年度	2023年/3月 2022年度
教育活動収入	1,931	1,840	1,939	1,845	1,851
学生生徒等納付金	1,102	1,084	1,126	1,110	1,083
補助金	684	642	583	592	580
教育活動支出	2,037	2,066	2,009	1,990	2,066
人件費	1,593	1,589	1,527	1,541	1,584
内退職金関連	101	103	44	68	96
教育研究経費	444	477	482	449	451
奨学費	9	12	15	21	21
減価償却費	134	152	154	158	159
教育活動収支差額	▲ 106	▲ 226	▲ 70	▲ 145	▲ 215
減価償却前	28	▲ 74	84	13	▲ 56
教育活動外収支差額	76	63	55	64	93
受取配当金	72	59	51	60	89
事業活動収支差額	▲ 30	▲ 163	▲ 15	▲ 81	▲ 122
減価償却前	104	▲ 11	139	77	36
総資産	6,614	6,426	6,324	6,254	6,099
純資産	5,679	5,516	5,499	5,423	5,301
現預金及び特定資産	3,287	3,286	3,069	3,134	3,043
現預金	189	892	967	1,032	826
特定資産	3,098	2,394	2,102	2,102	2,217
生徒数(年度初)	1,923	1,813	1,738	1,683	1,644
教員数(年度初)	136	135	134	133	133

#### 2. 経営成績、財政状況及びキャッシュフローの現状分析

##### (1)経営成績

少子化に伴う人口減少等により依然として厳しい経営環境が続いております。

学生生徒納入金については約11億円、2023年4月現在の生徒数については1,597名となっております。

支出面についても、エネルギー価格の上昇及び為替影響に伴う光熱水費の増加、取引業者からの値上げ要請等により、シビアな状況が当面続くものと思われま。

[光熱水費]

単位:百万円

	2020年度	2021年度	2022年度	増加率
電 気	21	22	32	144%
ガ ス	17	20	27	137%
水 道	11	11	12	107%
計	49	53	71	134%

進学実績向上、公立中学校・学習塾への当学園プログラムの周知、活動やグローバル教育の推進を図るなどの生徒数確保に対策を講じておりますが、更なる持続可能な魅力ある学校作りが急務の状況となっております。

## (2)財政状態

収支差額の▲122百万円減少等により総資産は前年度末に比べ▲155百万円減少し6,099百万円となりました。純資産についても同様に▲155百万円減少し5,301百万円となりました。

現預金は▲206百万円の減少し825百万円、特定資産は有価証券運用を115百万円増加させたことにより現預金及び特定資産合計は▲91百万円減少し3,043百万円となりました。

## (3)キャッシュフロー

2022年度の特定資産及び支払資金の残高は▲91百万円減少し、3,043百万円となりました。

教育活動によるキャッシュフローにより▲125百万円減少、設備投資活動によるキャッシュフローにより▲72百万円減少財務活動のキャッシュフローは▲26百万円ながら特定資産への115百万円の振替によるものであり、実態は89百万円のプラスとなっております。

単位:百万円

前年度繰越支払資金	1,032		
	収入	支出	収支
教育活動	1,800	1,925	▲ 125
収益事業他	17	0	17
財務活動	174	200	▲ 26
設備投資活動	0	72	▲ 72
合計	2,099	2,305	▲ 206
翌年度繰越支払資金	826		

	前年度末残高	今年度末残高	増減
特定資産	2,102	2,217	115
特定資産残高 及び支払資金	3,134	3,043	▲ 91

## (4)その他トピックス

卒業生より個人での大口寄付がありました。

これを機会に、個人の寄付金控除の必要要件である「特定公益増進法人」の認定を取得しております。

## 3. 設備の状況、今後の設備計画等

[2022年度設備投資実績]

単位:百万円

項目	金額
東館空調設置工事	54
吹奏楽部 楽器一式	8
マリアンホール プロジェクター取替	2
電話交換機取替	2
計	66

[2023年の主な設備投資計画]

単位:百万円

項目	金額
聖堂・南館空調設置工事	115
放送設備機器	75
自習室設置工事 *125周年事業として検討	30
WIFI環境設備工事	14
ホームページ更新費用	5
校歌再録音 *125周年事業として検討	3
その他	4
計	246

[2024年度以降の主な設備投資計画]

単位:百万円

項 目	金 額
北館空調設置工事	50
食堂空調設置工事	20
第二体育館空調設置工事	115
食堂改修工事	40
第一体育館改修工事	40
校舎廊下長尺シート改修工事	240
南館情報室サーバー・PC更新	30
東館情報室サーバー・PC更新	30
EV更新工事 @30M×4基	12
プロジェクター更新 64台 @300千円	19
教師用PC端末更新 150台	15
計	611

以上